

【薬剤耐性(AMR)対策についてのアンケート】

調査期間 H31.1.17 ~ H31.1.31
回答率 80.4% 回答者数 319人

アンケートの趣旨

1928年にペニシリンが発見されて以降、数多くの抗菌薬(抗生物質)が作られ、多くの人の命を救ってきました。一方、不必要な抗菌薬(抗生物質)の投与や誤った服用などにより、抗菌薬(抗生物質)が効かない耐性菌が発生し、これまで抗菌薬(抗生物質)により治療できていたものができなくなってきており、国際的にも問題となっています。

2015年5月の世界保健機関(WHO)の総会で、薬剤耐性に関する国際行動計画が採択され、加盟国は2年以内に自国の行動計画を策定するよう要請されました。

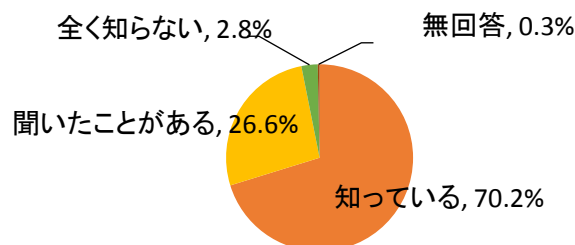
これを受けて日本でも、2016年4月に薬剤耐性(AMR)対策アクションプランが策定されました。

県としましても、次の世代の一つでも多くの有効な抗菌薬(抗生物質)を残しておけるよう取り組みが必要と考えています。

今後の取り組みの参考にしたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

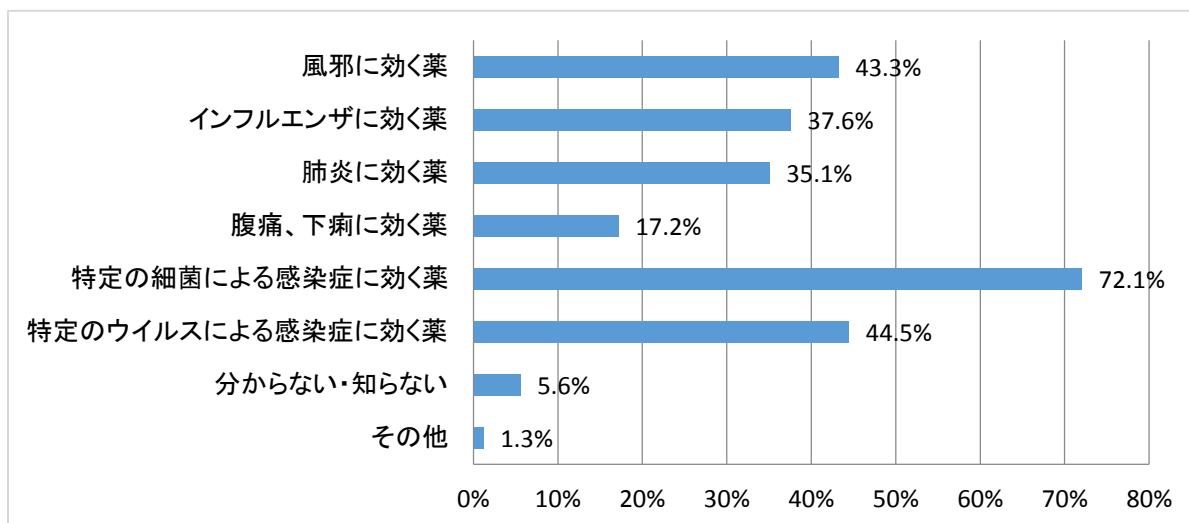
問1 あなたは、抗菌薬(抗生物質)を知っていますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	224	70.2%
聞いたことがある	85	26.6%
全く知らない	9	2.8%
無回答	1	0.3%
計	319	99.9%



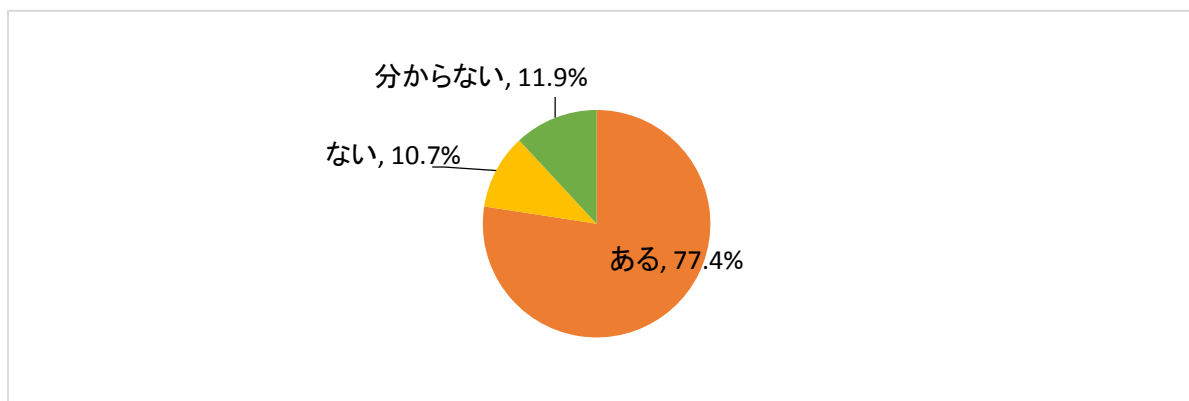
問2 あなたは、抗菌薬（抗生物質）がどのような薬だと思いますか。あてはまるものをすべて選んで○を付けてください。

選択肢	回答者数 319	
	回答者数	構成比
風邪に効く薬	138	43.3%
インフルエンザに効く薬	120	37.6%
肺炎に効く薬	112	35.1%
腹痛、下痢に効く薬	55	17.2%
特定の細菌による感染症に効く薬	230	72.1%
特定のウイルスによる感染症に効く薬	142	44.5%
分からない・知らない	18	5.6%
その他	4	1.3%



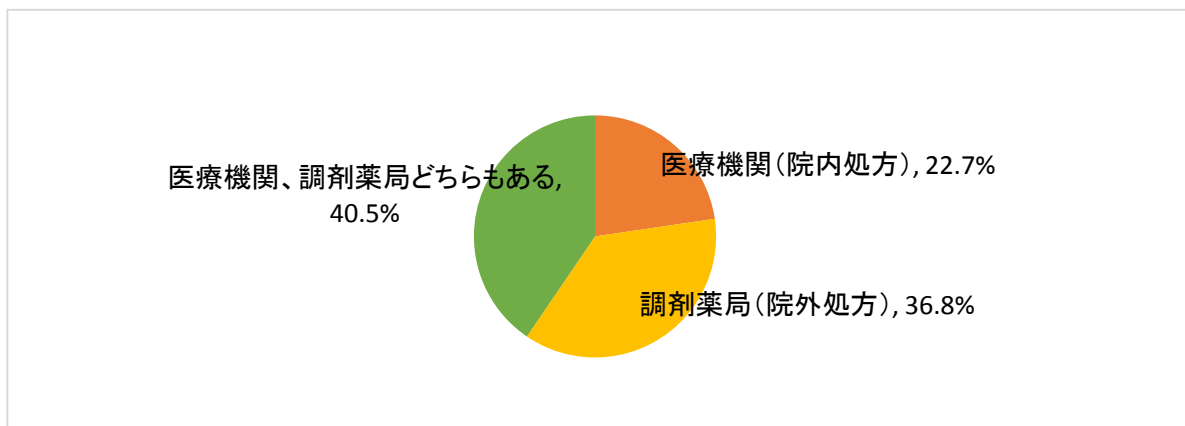
問3 あなたは、病院・診療所（以下「医療機関」と言います。）で抗菌薬（抗生物質）を処方されたことがありますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
ある	247	77.4%
ない	34	10.7%
分からない	38	11.9%
計	319	100.0%



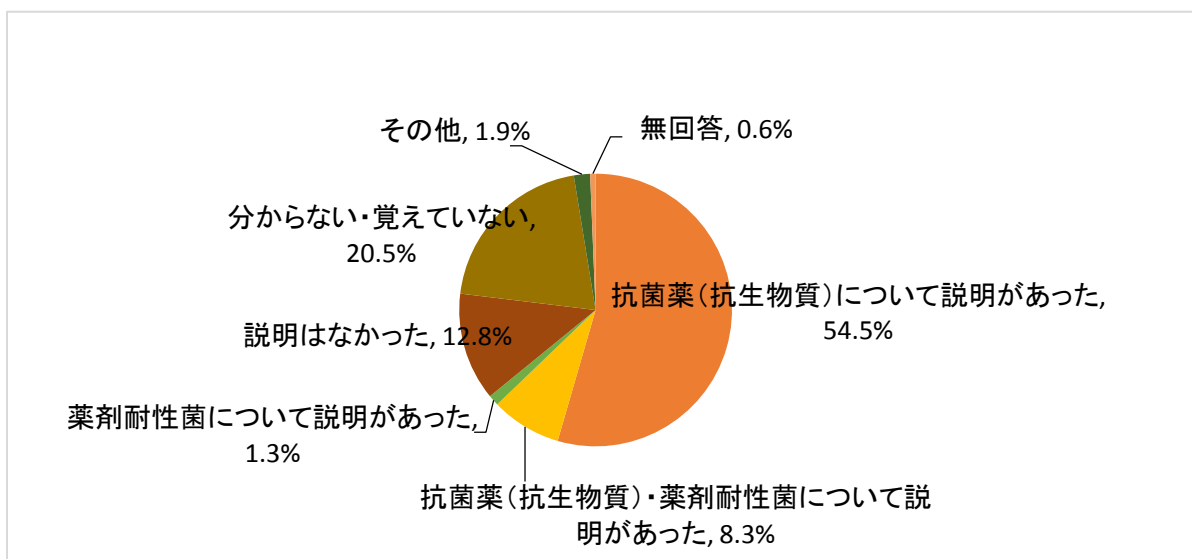
問4 問3で「1 ある」と答えた方にお伺いします。
 抗菌薬（抗生物質）はどこで受け取りましたか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
医療機関(院内処方)	56	22.7%
調剤薬局(院外処方)	91	36.8%
医療機関、調剤薬局どちらもある	100	40.5%
計	247	100.0%



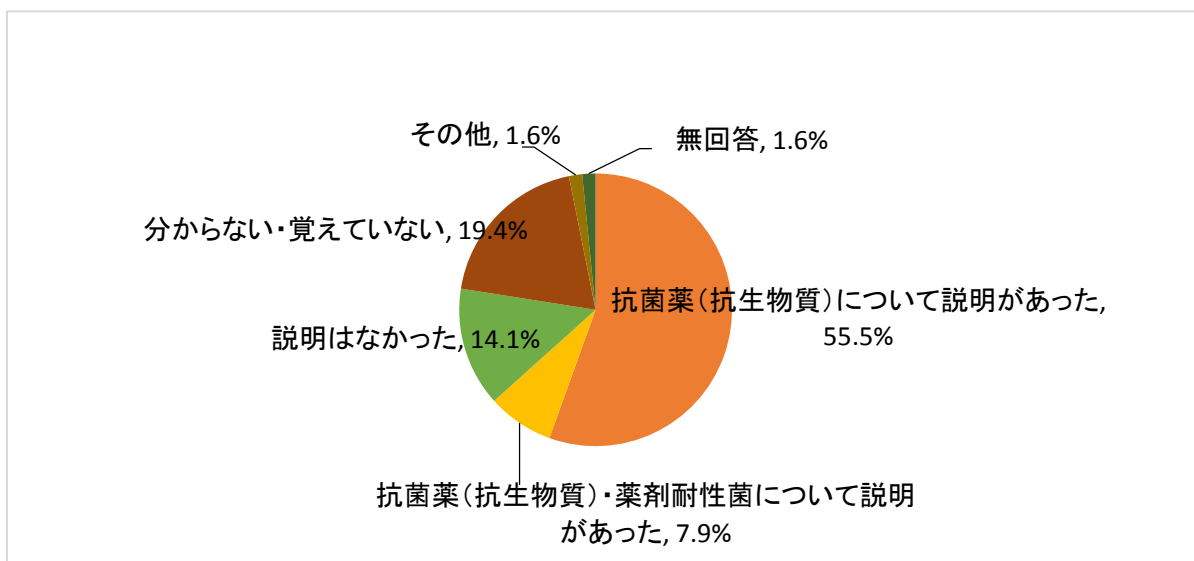
問4-1 問4で「1 医療機関（院内処方）」、「3 医療機関、調剤薬局どちらもある」と答えた方にお伺いします。
 医師や薬剤師から抗菌薬（抗生物質）や薬剤耐性菌について説明がありましたか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
抗菌薬(抗生物質)について説明があった	85	54.5%
抗菌薬(抗生物質)・薬剤耐性菌について説明があった	13	8.3%
薬剤耐性菌について説明があった	2	1.3%
説明はなかった	20	12.8%
分からない・覚えていない	32	20.5%
その他	3	1.9%
無回答	1	0.6%
計	156	99.9%



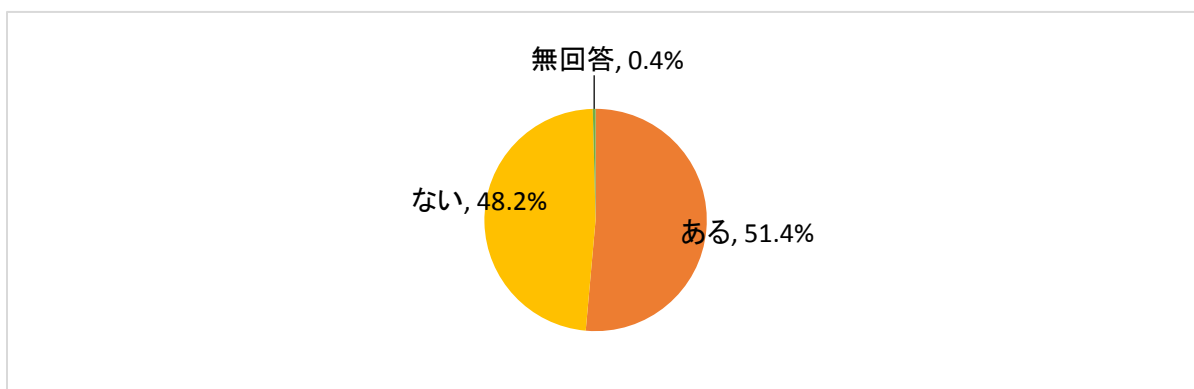
問4-2 問4で「2 調剤薬局（院外処方）」、「3 医療機関、調剤薬局どちらもある」と答えた方にお伺いします。
調剤薬局で、薬剤師から抗菌薬（抗生物質）や薬剤耐性菌について説明がありましたか。
1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
抗菌薬（抗生物質）について説明があった	106	55.5%
抗菌薬（抗生物質）・薬剤耐性菌について説明があった	15	7.9%
説明はなかった	27	14.1%
分からない・覚えていない	37	19.4%
その他	3	1.6%
無回答	3	1.6%
計	191	100.1%



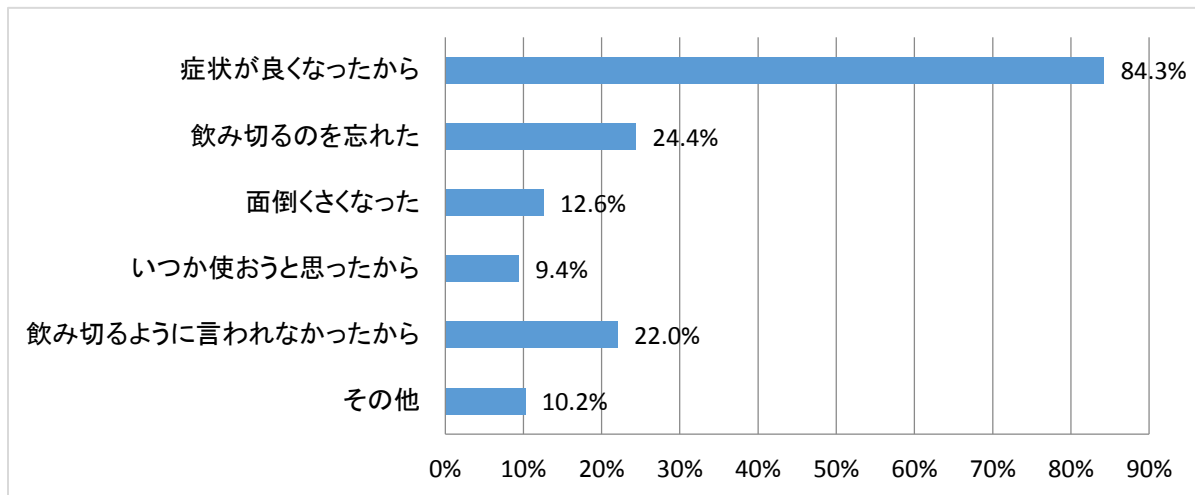
問5 あなたは、処方された抗菌薬（抗生物質）を飲み切らなかったことがありますか。

選択肢	回答者数	構成比
ある	127	51.4%
ない	119	48.2%
無回答	1	0.4%
計	247	100.0%



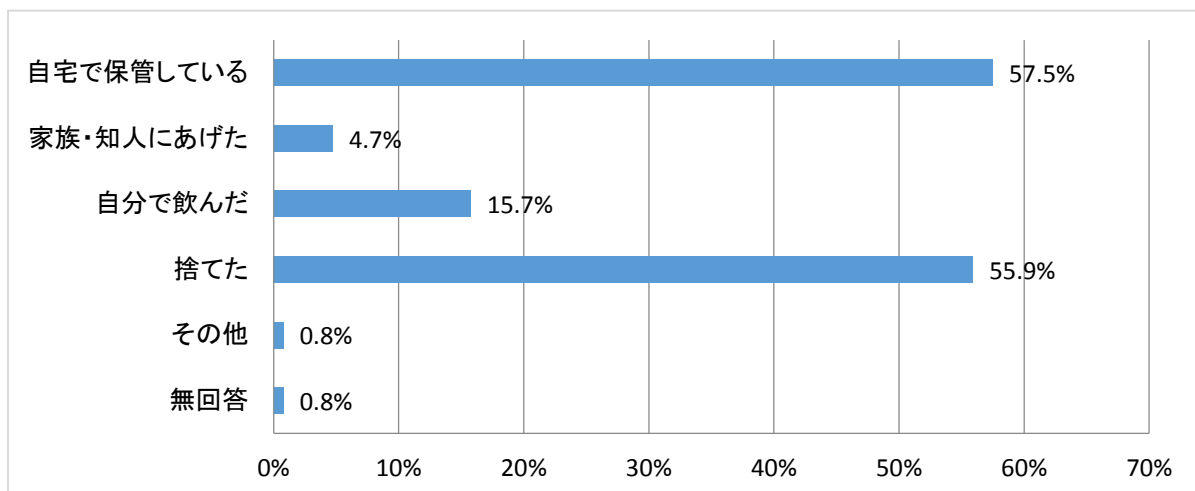
問5-1 問5で「1 ある」と答えた方にお伺いします。
 飲み切らなかったのは次のうちいずれの理由でしょうか。2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 127	
	回答者数	構成比
症状が良くなったから	107	84.3%
飲み切るのを忘れた	31	24.4%
面倒くさくなった	16	12.6%
いつか使おうと思ったから	12	9.4%
飲み切るように言われなかったから	28	22.0%
その他	13	10.2%



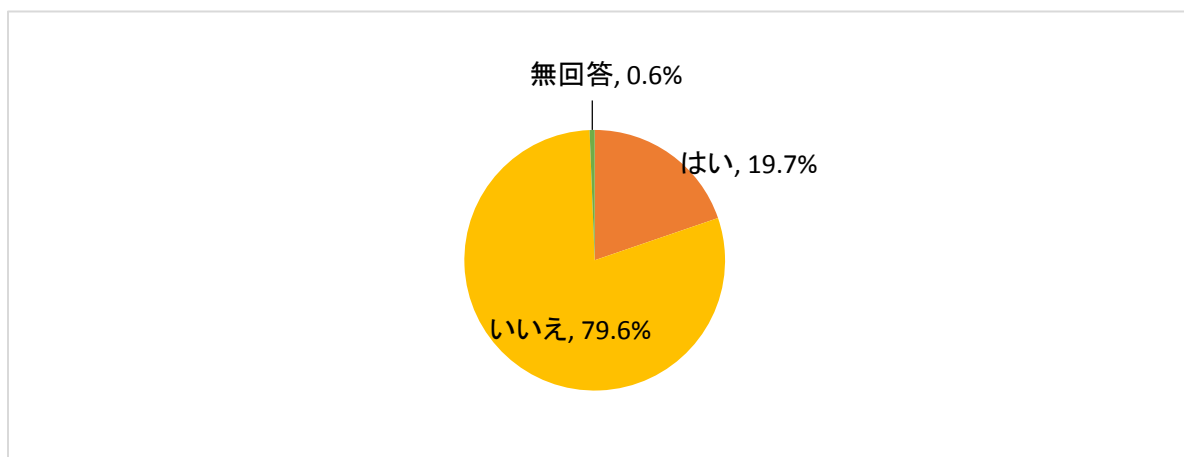
問5-2 問5で「1 ある」と答えた方にお伺いします。
 残った抗菌薬（抗生物質）をどのようにしましたか。あてはまるものをすべて選んで○を付けてください。

選択肢	回答者数 127	
	回答者数	構成比
自宅で保管している	73	57.5%
家族・知人にあげた	6	4.7%
自分で飲んだ	20	15.7%
捨てた	71	55.9%
その他	1	0.8%
無回答	1	0.8%



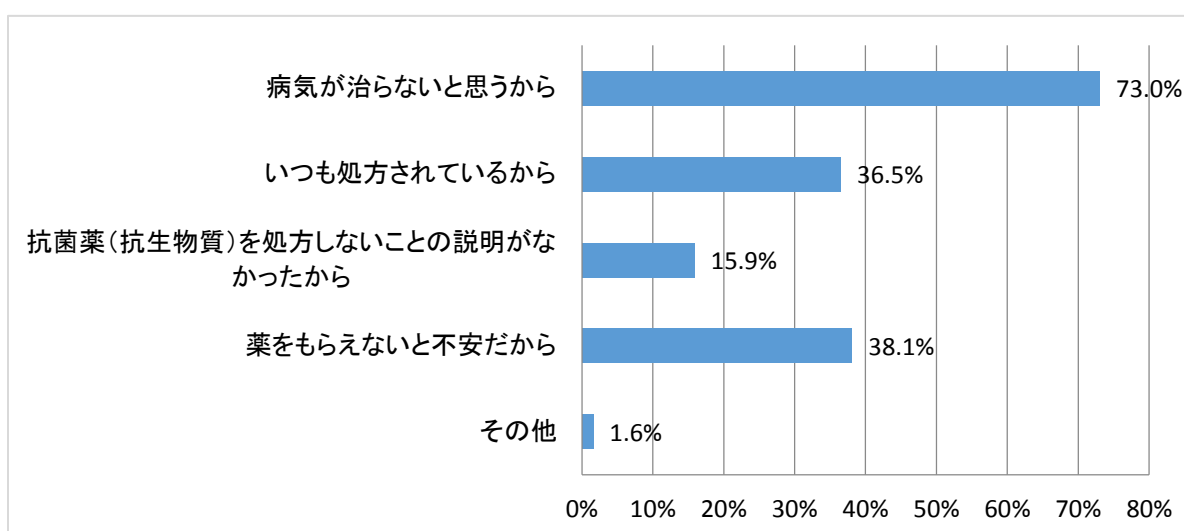
問6 全員の方にお伺いします。
風邪や腹痛で医療機関を受診したときに、抗菌薬（抗生物質）を処方されないと不安ですか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
はい	63	19.7%
いいえ	254	79.6%
無回答	2	0.6%
計	319	99.9%



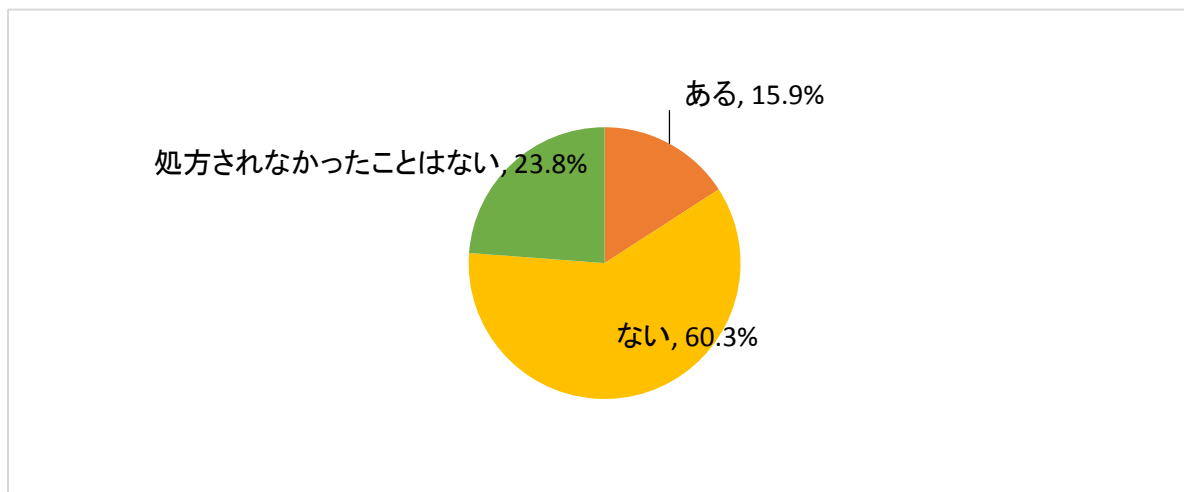
問6-1 問6で「1 はい」と答えた方にお伺いします。
不安を感じる理由は何ですか。2つまで選んでください。

回答者数	63	
選択肢	回答者数	構成比
病気が治らないと思うから	46	73.0%
いつも処方されているから	23	36.5%
抗菌薬(抗生物質)を処方しないことの説明がなかったから	10	15.9%
薬をもらえないと不安だから	24	38.1%
その他	1	1.6%



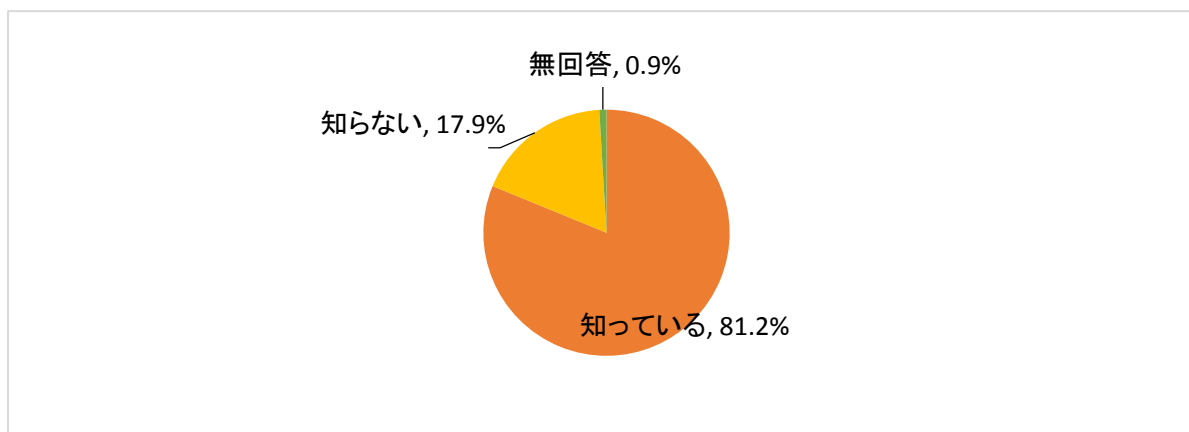
問6-2 問6で「1 はい」と答えた方にお伺いします。
抗菌薬（抗生物質）が処方されなかったときに、医師に対し処方することを求めたことがありますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
ある	10	15.9%
ない	38	60.3%
処方されなかったことはない	15	23.8%
計	63	100.0%



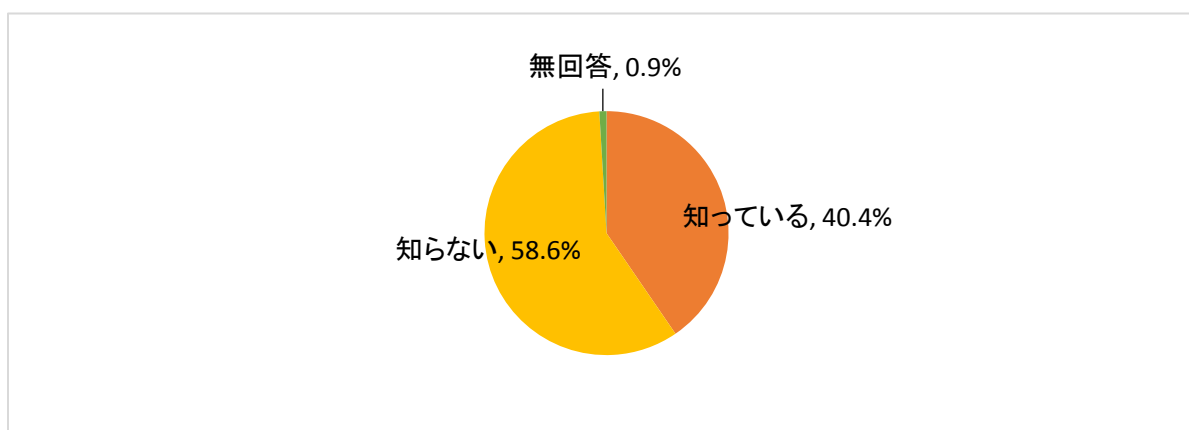
問7 ここからは全員の方にお伺いします。
 風邪などの感染症の原因（病原体）には、細菌とウイルスがあることを知っていますか。
 1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	259	81.2%
知らない	57	17.9%
無回答	3	0.9%
計	319	100.0%



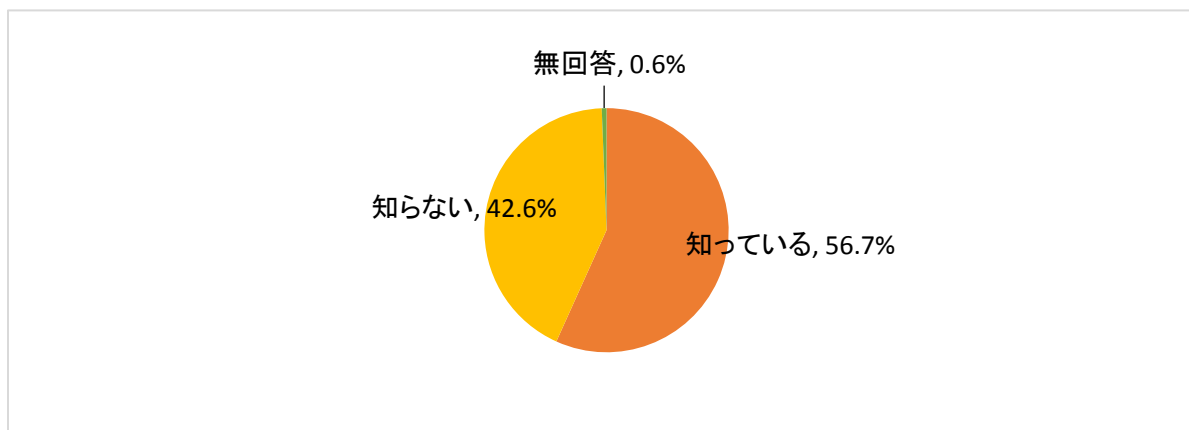
問8 ウイルスによる感染症には、抗菌薬（抗生物質）が効かないことを知っていますか。
 1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	129	40.4%
知らない	187	58.6%
無回答	3	0.9%
計	319	99.9%



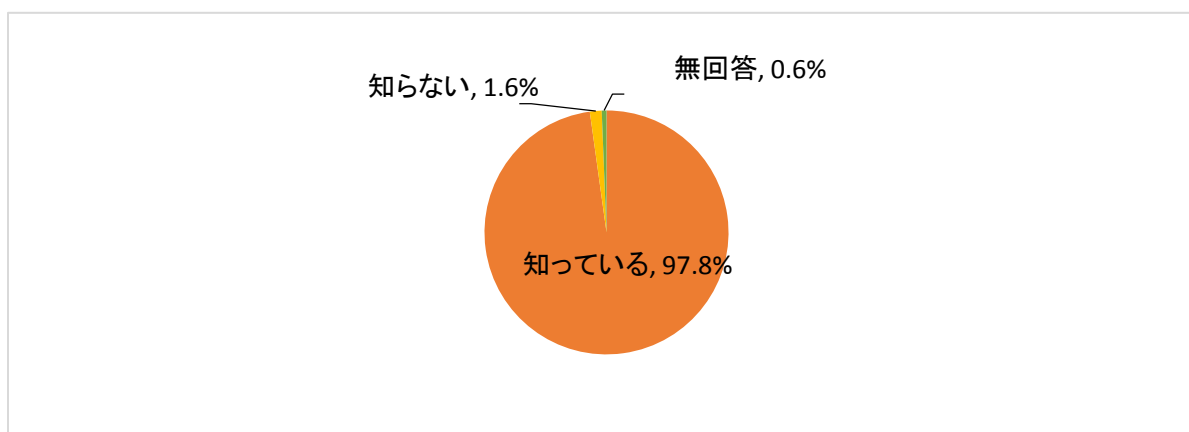
問9 抗菌薬（抗生物質）が効かない薬剤耐性菌が発生していることを知っていますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	181	56.7%
知らない	136	42.6%
無回答	2	0.6%
計	319	99.9%



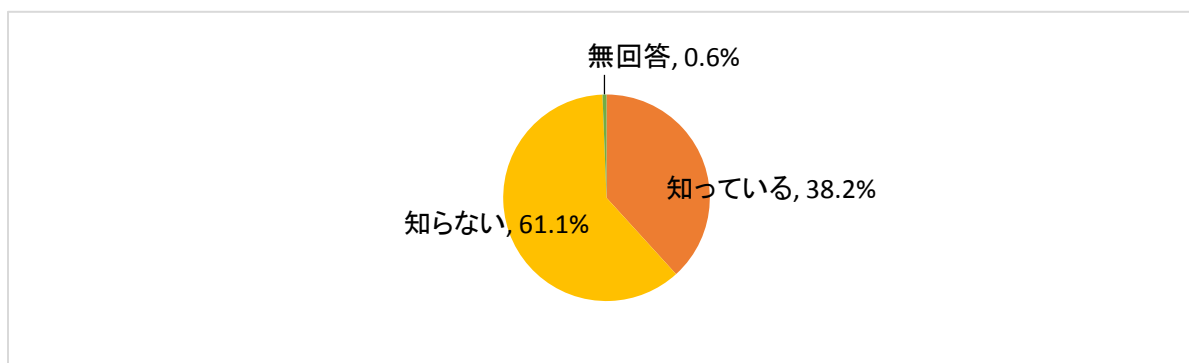
問10 患者に合わせて処方された薬は、指示された用法、用量を守ることが大切だと知っていますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	312	97.8%
知らない	5	1.6%
無回答	2	0.6%
計	319	100.0%



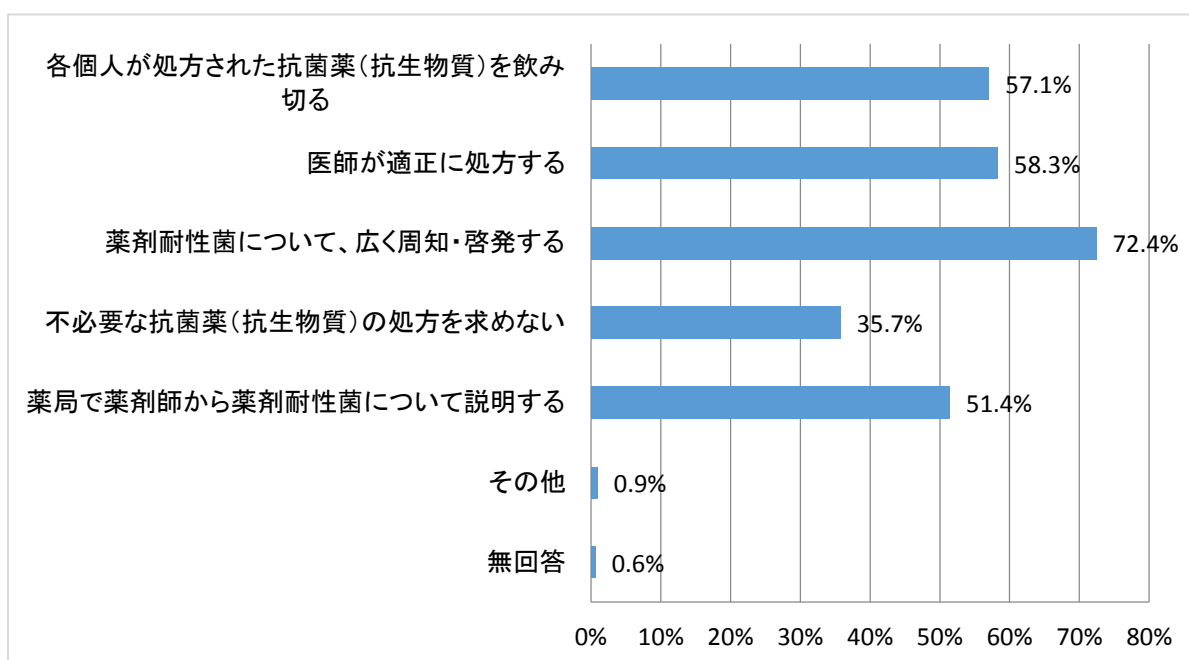
問11 抗菌薬（抗生物質）を飲み切らないことによって、薬剤耐性菌が発生する可能性があることを知っていますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	122	38.2%
知らない	195	61.1%
無回答	2	0.6%
計	319	99.9%



問12 薬剤耐性菌の発生を抑え、有効な抗菌薬（抗生物質）を残すために、今後、どのような取り組みが必要だと思いますか。3つまで選んでください。

回答者数	319	
選択肢	回答者数	構成比
各個人が処方された抗菌薬（抗生物質）を飲み切る	182	57.1%
医師が適正に処方する	186	58.3%
薬剤耐性菌について、広く周知・啓発する	231	72.4%
不必要な抗菌薬（抗生物質）の処方を求めない	114	35.7%
薬局で薬剤師から薬剤耐性菌について説明する	164	51.4%
その他	3	0.9%
無回答	2	0.6%



※ 表中の構成比は、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。